

のう じ でん そう

農時電送

水稲 No.臨時

JA新函館・若松支店

JAきたひやま

JAいまかね

檜山農業改良普及センター

せたな地区水稲部会・北檜山町農協地区水稲部会・今金町稲作部会

檜山北部支所 (84-5514)

高温注意！水管理の実施を！

全道的に7月中旬以降、記録的な猛暑に見舞われています。
高温対策を行い、水管理を徹底しましょう。

1. 主な高温障害

最高気温29℃以上、夜間気温23℃以上の高温が5日以上

- ① 胴割粒や白未熟粒の発生
- ② かんがい水不足や登熟鈍化による歩留まり低下

2. 水管理のポイント

本年の出穂期：ななつぼし(成苗) 7月26日(平年7月31日)
ふっくりんこ(成苗) 7月28日(平年8月2日)

- ・ 1筆ごと確実に入水し、水が行き渡るようにしましょう。
- ・ 落水は穂かがみ期(出穂期後25日目頃)以降に行いましょう。
- ・ 土壌表面に1cm以上の亀裂が入らないよう、走水を行いましょ

※取水制限がある場合は、取水可能日に入水し、浅水状態を保ちましょう。

3. 適期収穫の実施

出穂が早いいため、成熟期が前倒しになり、収穫適期が早まっています(成熟期予想：9月10日頃)。

- ・ 籾水分が25%以下になると、胴割粒発生リスクが高まります。
- ・ 適期刈り取り判定を実施し、刈り遅れを防止しましょう。

熱中症に注意し農作業事故防止の徹底を！